



地域社会との関わり

理想科学は、地域社会とのコミュニケーションを積極的に図り、信頼を寄せられる企業活動を推進します。

社会貢献活動

当社は、地球社会の一員であることを深く認識し、美しく健全な環境を次世代に引き継ぐために、当社の事業と関連する環境負荷の少ない印刷について学びの場を提供しています。

環境学習支援

当社は、印刷を大切なコミュニケーションの手段と考え、学校での環境教育やセミナーなどに、積極的に参加・協力し、生徒の皆さんに地球環境に優しい印刷についてお話しています。また、先生方には環境教育ツールや教育プログラムのご紹介をしています。

事例1 神奈川県川崎市立柞形中学校

当社は、2004年度から神奈川県川崎市立柞形中学校の環境教育プログラムに協力しています。

2008年度は、12月19日に柞形中学校のエネルギー環境ワークショップに協力しました。

当社の事業に関わりのある印刷を題材に、コミュニケーション手段としての印刷の役割をはじめ、印刷においてどのような地球資源が消費されるのか、また、環境への負担が少ない印刷への取り組みなどについて説明しました。

さらに、エシソンが発明したガリ版印刷など体験プログラムを通じて生徒の皆さんに環境の大切さをお話ししました。

事例2 埼玉県越谷市立大袋東小学校

2008年6月10日に埼玉県越谷市立大袋東小学校において、環境公開事業「エコフェスティバル」が開催され、20の団体・企業が参加しました。当社は、「環境に配慮した印刷機とSOYINK」をテーマに、資源の消費における石油と大豆油の違いや使用済みインクボトルのリサイクルについて説明しました。

また、SOYINKを使った体験学習として、参加者各自の環境への取り組みを記入した名刺を印刷し、記念に持ち帰っていただきました。

地域とのコミュニケーション

当社は、地域とのコミュニケーションを重視し、地域の社会活動にも積極的に取り組んでいます。

国内では、工場・事業場の地主や近隣の方々を年2回定期的に訪問し、苦情や要望を承り、事業活動の改善に反映しています。また、地元の企業連絡会のメンバーとして、地域の清掃活動や交通安全活動などに参加し、各企業および地域との連携のもと、地域環境の改善に努めています。



清掃の様子

寄付・協賛活動

当社は、より良い社会の構築のために、災害復旧や教育支援、環境保全の取り組みなどを行う諸団体に対して、寄付・協賛を行っています。

2008年4月には、中国のシンセン日本人学校開校に際し、当社のデジタル印刷機リソグラフ1台を寄贈しました。また、2008年5月に発生した四川大地震の被害者救済活動を支援するため、理想グループ全体で、2008年7月16日までに総額474万円の義援金を日本赤十字、中国の珠海市紅十字会、四川省成都市教育基金会などの慈善団体を通じて寄付しました。

このほか2008年度は、「理想教育財団」^{解説1}の活動をはじめ、各種教育機関、「みどりの小道環境日記」^{解説2}の配布および「キッズISOプログラム」^{解説3}普及に取り組むNPOや東京都など、さまざまな団体へ支援を行いました。



リソグラフの寄贈

解説1 理想教育財団

財団法人理想教育財団は、学校・家庭・地域社会全般にわたり、心のかよい合うコミュニケーションの確立を使命として、豊かな人間性涵養*の基礎となるべき教育方法の探究と、教育現場でのより良い情報伝達の追求を目的に活動しています。主な活動は「育てプリントコミュニケーション」コンクールの開催、印刷機器材の助成、プリントメディアに関する調査研究などです。

*涵養:水が自然にしみこむように、少しずつ養い育てること。

解説2 みどりの小道環境日記

財団法人グリーンクロスジャパンが主催する環境事業。小学生を対象に「みどりの小道環境日記」を配布し、日記を書きながら環境を学び、また、環境を意識した行動が取れるようになることを目的としています。

解説3 キッズISOプログラム

ISO(国際標準化機構)が認めた環境教育プログラム。国際芸術技術協力機構(アーテック)が日本国内、および海外で展開しています。国内では、環境省、文部科学省、ユネスコ国内委員会、国際的には国連大学、国連環境計画の後援を受けています。東京都は2005年度から小学校高学年の児童を対象にして、環境マネジメントや温暖化対策を体験する学習教材「キッズISOプログラム」の導入普及を推進。当社は、東京都の「キッズISOプログラム」普及の趣旨に賛同し、協賛企業として寄付を行っています。